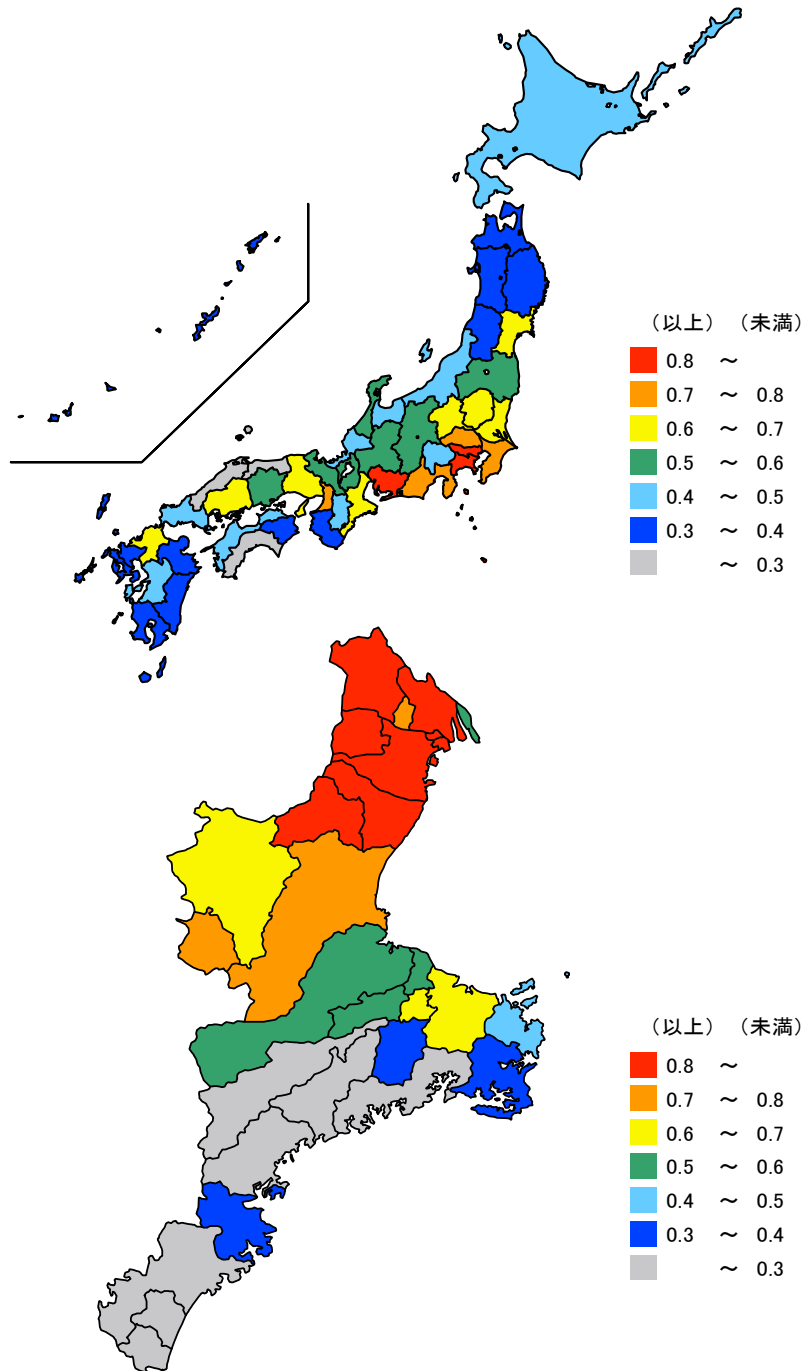


● 財政力指数

令和2年度

都道府県	値	順位
平均	0.523	
東京都	1.150	1
愛知県	0.912	2
神奈川県	0.889	3
大阪府	0.792	4
千葉県	0.778	5
三重県	0.609	15
徳島県	0.327	43
秋田県	0.322	44
鳥取県	0.287	45
高知県	0.274	46
島根県	0.266	47

市町	値	順位
川越町	1.331	1
四日市市	1.215	2
鈴鹿市	0.907	3
亀山市	0.898	4
桑名市	0.844	5
朝日町	0.841	6
いなべ市	0.838	7
菟野町	0.809	8
東員町	0.779	9
津市	0.710	10
名張市	0.701	11
伊賀市	0.636	12
伊勢市	0.606	13
玉城町	0.603	14
木曾岬町	0.594	15
松阪市	0.583	16
明和町	0.566	17
多気町	0.538	18
鳥羽市	0.442	19
志摩市	0.389	20
尾鷲市	0.368	21
度会町	0.360	22
紀宝町	0.293	23
御浜町	0.289	24
紀北町	0.284	25
熊野市	0.258	26
大台町	0.246	27
南伊勢町	0.214	28
大紀町	0.188	29
市町平均	0.598	



令和2年度（過去3年間の平均値）の三重県の財政力指数は0.609で、全国順位は15位となっています。

県内市町の財政力指数は、川越町と四日市市が1を超えており、次いで鈴鹿市、亀山市が続いています。一方、県南部地域の市町は低い傾向にあります。

【資料出所】 全国：総務省「地方公共団体の主要財政指標一覧」

三重県市町：三重県地域連携部市町行財政課「地方財政状況調査に係る各種財政指標」

【備考】 財政力指数とは、地方公共団体の財政力を表す指標で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値である。この値が高いほど財源に余裕があるものとされる。

都道府県の平均及び市町平均は、単純平均による。

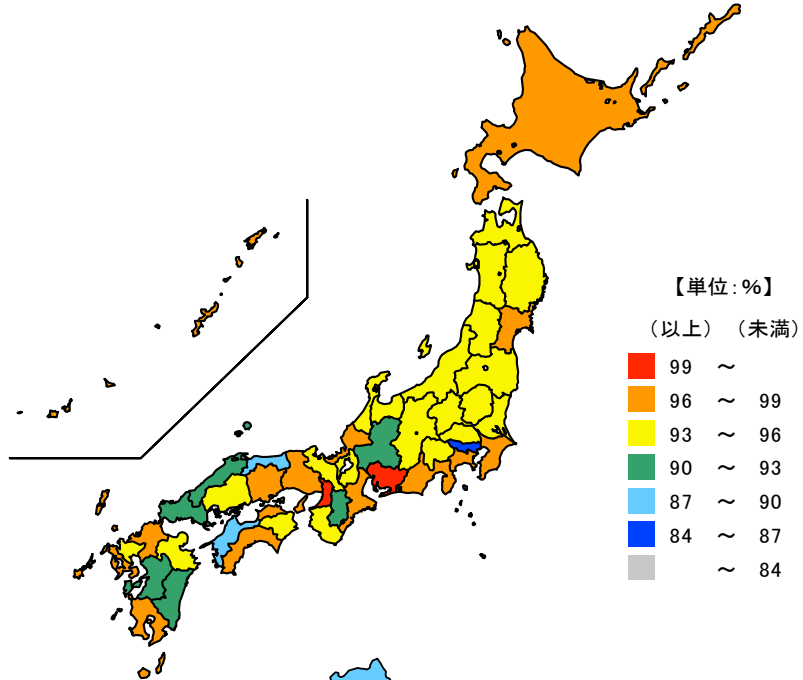
※基準財政収入額及び基準財政需要額は、地方交付税の算定に用いられ、それぞれ各地方公共団体の財政力、財政需要を合理的に測定するために算定される額。

● 経常収支比率

令和2年度

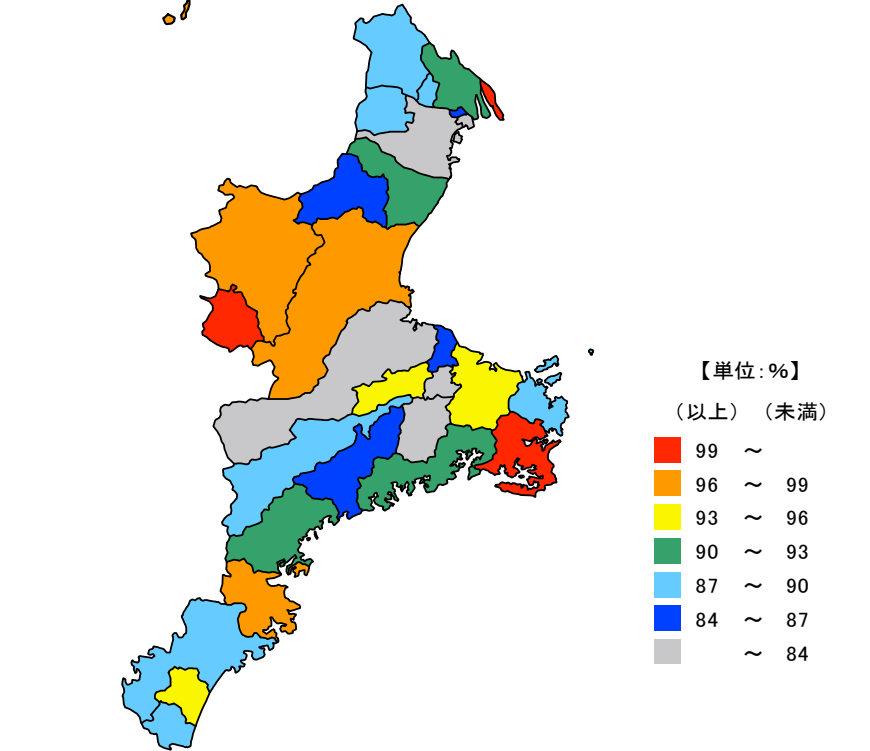
単位：％

都道府県	値	順位
平均	94.4	
大阪府	100.8	1
愛知県	100.0	2
神奈川県	98.4	3
北海道	98.2	4
千葉県	98.2	4
三重県	96.3	12
山口県	91.2	43
島根県	90.0	44
鳥取県	89.2	45
愛媛県	88.9	46
東京都	84.9	47



単位：％

市町	値	順位
志摩市	101.7	1
名張市	100.1	2
木曾岬町	99.6	3
尾鷲市	98.8	4
津市	97.5	5
伊賀市	97.1	6
御浜町	95.2	7
伊勢市	95.1	8
多気町	93.5	9
南伊勢町	92.8	10
鈴鹿市	92.1	11
紀北町	91.6	12
桑名市	90.0	13
紀宝町	89.8	14
菟野町	89.1	15
大台町	89.1	16
東員町	89.1	17
熊野市	89.0	18
いなべ市	88.5	19
鳥羽市	87.9	20
大紀町	85.8	21
明和町	85.7	22
亀山市	85.5	23
朝日町	85.3	24
松阪市	80.3	25
四日市市	78.1	26
玉城町	74.1	27
度会町	69.0	28
川越町	68.9	29
市町平均	89.2	



令和2年度の三重県の経常収支比率は96.3%で、全国順位は12位となっています。

県内市町の経常収支比率は、志摩市、名張市、木曾岬町の順に高くなっています。一方、川越町、度会町等の1市3町が80%以下と低くなっています。

【資料出所】 全国：総務省「地方公共団体の主要財政指標一覧」

三重県市町：三重県地域連携部市町行財政課「地方財政状況調査に係る各種財政指標」

【備考】 経常収支比率とは、地方税、地方交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)のうち、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常経費)に充当されたものが占める割合。

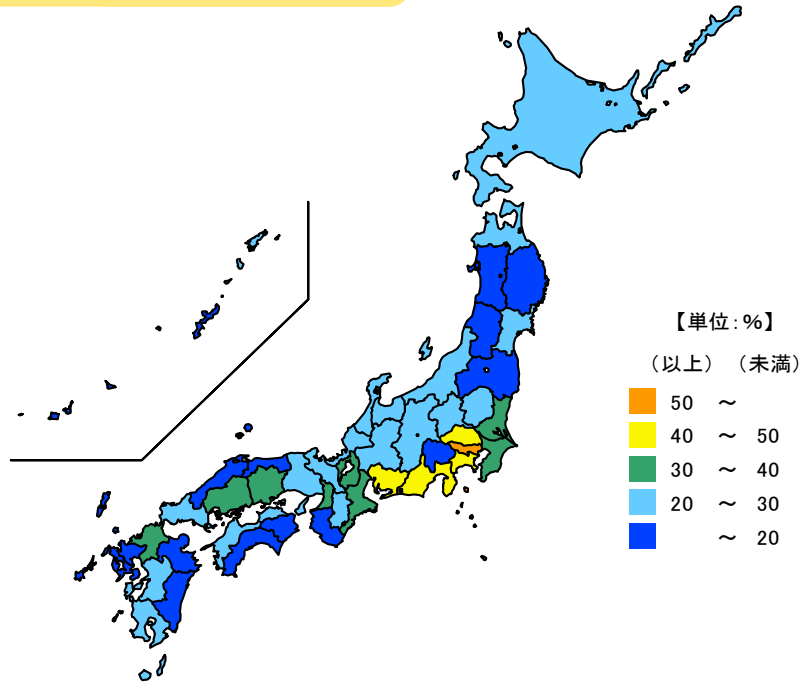
財政構造の弾力性を判断する指標であり、比率が低いほど弾力性が大きいことを示す。都道府県の平均及び市町平均は、加重平均による。

● 地方税割合(対歳入決算総額)

令和2年度

単位：％

都道府県	値	順位
平均	33.2	
東京都	58.5	1
愛知県	46.4	2
神奈川県	46.3	3
埼玉県	43.7	4
静岡県	40.6	5
三重県	33.3	8
秋田県	17.4	43
徳島県	17.1	44
高知県	16.2	45
島根県	15.4	46
岩手県	14.6	47

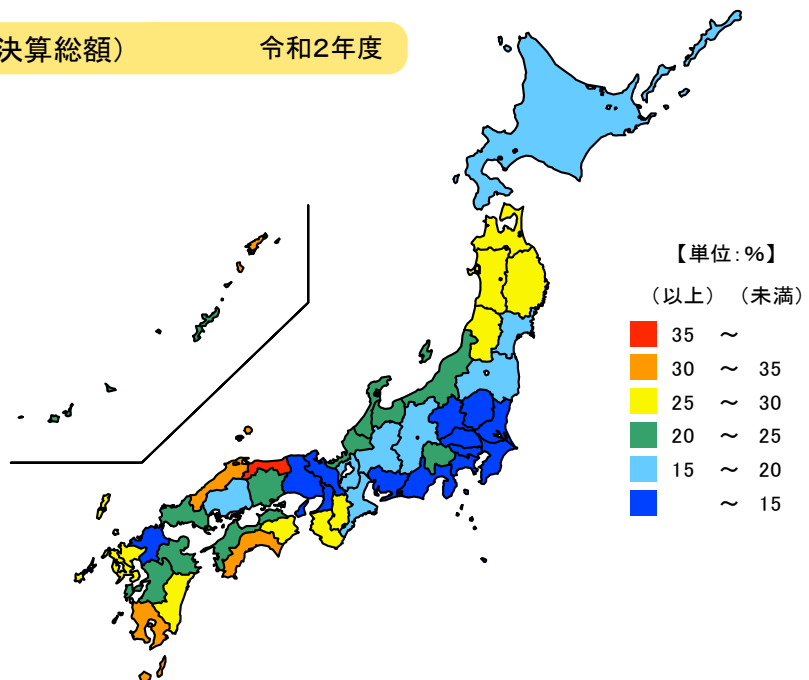


● 地方交付税割合(対歳入決算総額)

令和2年度

単位：％

都道府県	値	順位
平均	14.3	
鳥取県	35.7	1
高知県	34.8	2
島根県	33.9	3
鹿児島県	30.8	4
青森県	29.2	5
三重県	17.8	32
千葉県	8.5	43
大阪府	6.8	44
神奈川県	4.7	45
愛知県	3.7	46
東京都	-	47



令和2年度の三重県の歳入決算総額に占める地方税割合は33.3%で、全国順位は8位となっており、地方交付税割合は17.8%で、全国順位は32位となっています。

【資料出所】 総務省「都道府県決算状況調」

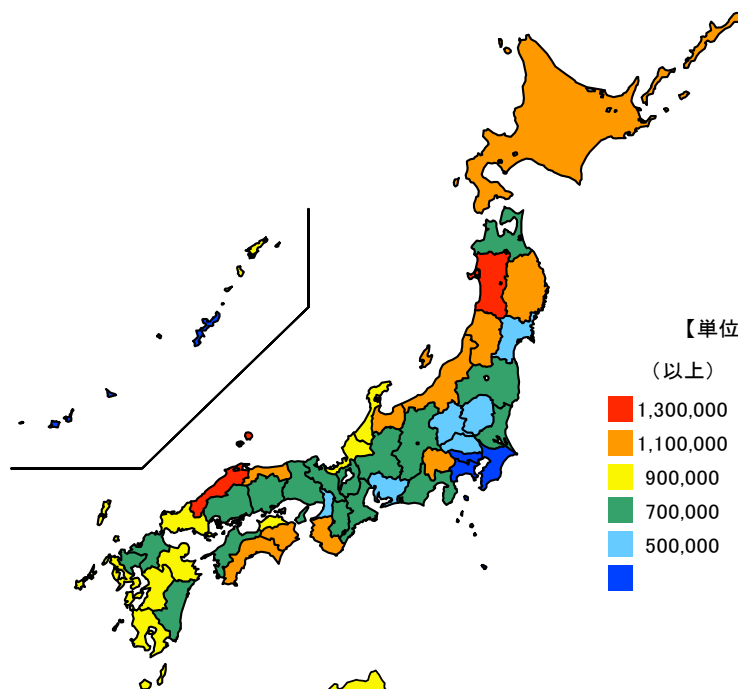
【算出方法】 地方税(地方交付税)歳入決算額÷歳入決算総額×100

● 地方債現在高(人口1人当たり)

令和2年度

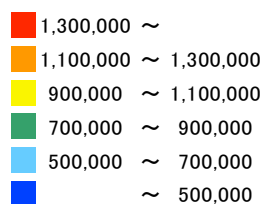
単位：円

都道府県	値	順位
平均	695,063	
島根県	1,369,127	1
秋田県	1,310,540	2
高知県	1,287,621	3
山梨県	1,161,104	4
和歌山県	1,144,602	5
三重県	817,909	24
埼玉県	526,129	43
千葉県	491,175	44
沖縄県	407,396	45
神奈川県	369,574	46
東京都	283,957	47



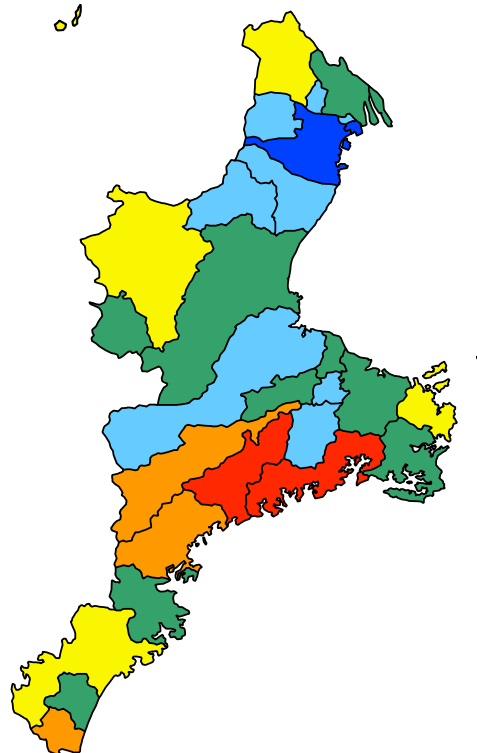
【単位：円】

(以上) (未満)



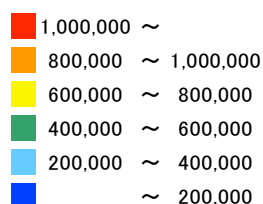
単位：円

市町	値	順位
大紀町	1,314,607	1
南伊勢町	1,149,824	2
大台町	920,183	3
紀北町	897,437	4
紀宝町	826,093	5
熊野市	751,190	6
鳥羽市	704,278	7
いなべ市	663,815	8
伊賀市	600,036	9
尾鷲市	599,367	10
御浜町	546,585	11
木曾岬町	542,121	12
明和町	514,027	13
志摩市	510,890	14
桑名市	499,897	15
伊勢市	483,076	16
名張市	455,675	17
多気町	427,105	18
津市	405,548	19
朝日町	395,595	20
度会町	360,616	21
玉城町	354,730	22
亀山市	316,458	23
松阪市	276,751	24
菟野町	259,708	25
東員町	250,476	26
鈴鹿市	241,476	27
四日市市	160,259	28
川越町	22,148	29



【単位：円】

(以上) (未満)



令和2年度の三重県の人口1人当たりの地方債現在高は81万7,909円で、全国順位は24位となっています。

県内市町の人口1人当たりの地方債現在高は、大紀町、南伊勢町が100万円以上と多く、川越町は2万円台と、特に少なくなっています。

【資料出所】

総務省「都道府県決算状況調」「市町村別決算状況調」
 全国・都道府県の総人口：総務省統計局「人口推計」
 三重県市町の総人口：三重県戦略企画部統計課「推計人口」

【算出方法】

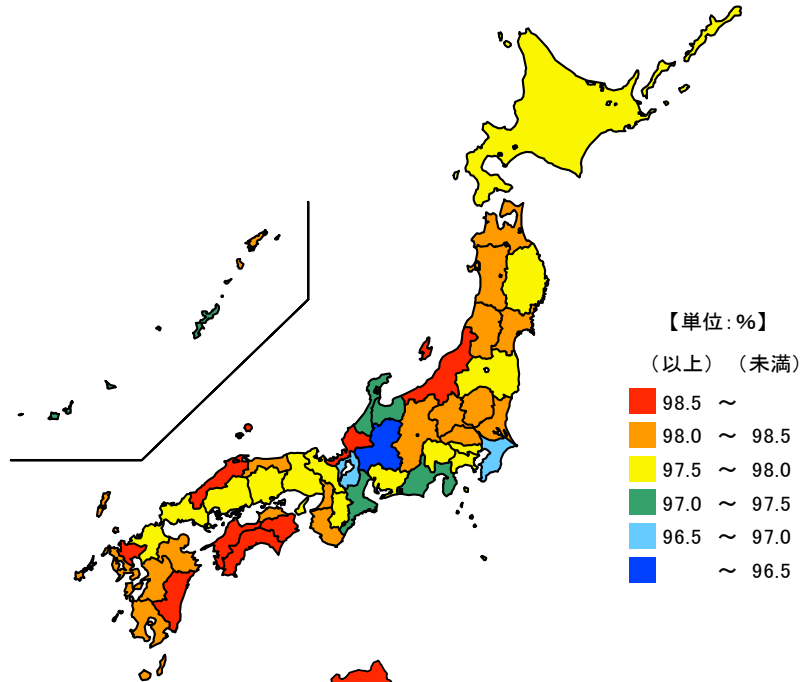
地方債現在高÷総人口

● 地方税徴収率

令和2年度

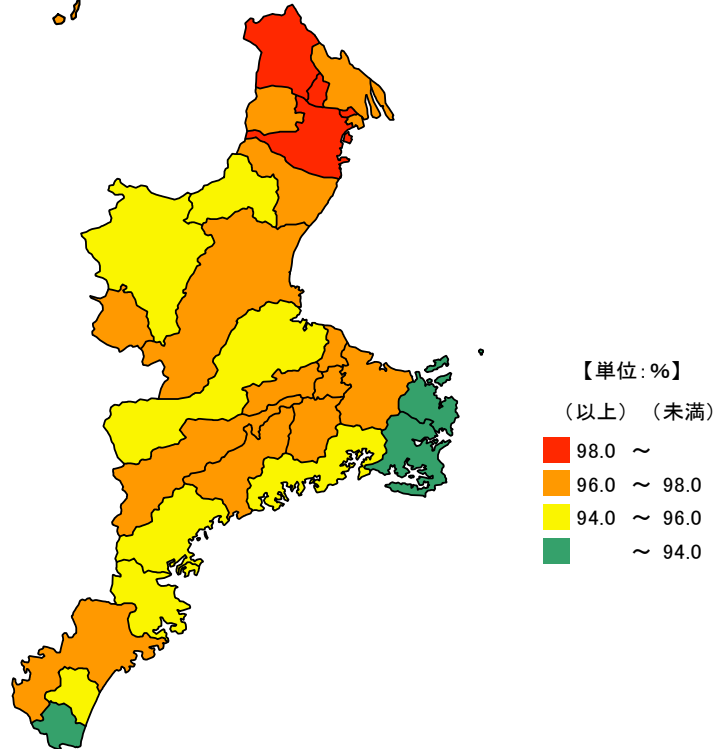
単位：％

都道府県	値	順位
合計	97.9	
愛媛県	99.0	1
高知県	98.7	2
徳島県	98.7	3
島根県	98.6	4
佐賀県	98.5	5
三重県	97.3	43
静岡県	97.2	44
滋賀県	96.8	45
千葉県	96.8	46
岐阜県	96.4	47



単位：％

市町	値	順位
東員町	99.1	1
朝日町	98.4	2
四日市市	98.2	3
いなべ市	98.2	4
菟野町	97.9	5
川越町	97.8	6
玉城町	97.8	7
多気町	97.7	8
大紀町	97.7	9
名張市	97.6	10
津市	97.1	11
鈴鹿市	96.9	12
伊勢市	96.7	13
桑名市	96.4	14
木曾岬町	96.3	15
熊野市	96.3	16
度会町	96.2	17
明和町	96.1	18
大台町	96.0	19
伊賀市	95.7	20
紀北町	95.5	21
亀山市	95.3	22
尾鷲市	94.8	23
御浜町	94.6	24
南伊勢町	94.6	25
松阪市	94.3	26
紀宝町	93.5	27
志摩市	93.1	28
鳥羽市	92.0	29



令和2年度の三重県の地方税（道府県税）の徴収率は97.3%で、全国順位は43位となっています。

県内市町の地方税（市町村税）の徴収率は、東員町、朝日町等が高く、鳥羽市、志摩市等が低くなっています。

【資料出所】

総務省「地方財政状況調査」

【算出方法】

収入済額÷調定済額（収入済額、調定済額ともに過年度の滞納繰越分を含む。）

【備考】

道府県税は、地方消費税を除いた額で算出。

東京都については、都が徴収する市町村税相当分を道府県税収入から控除したものの。

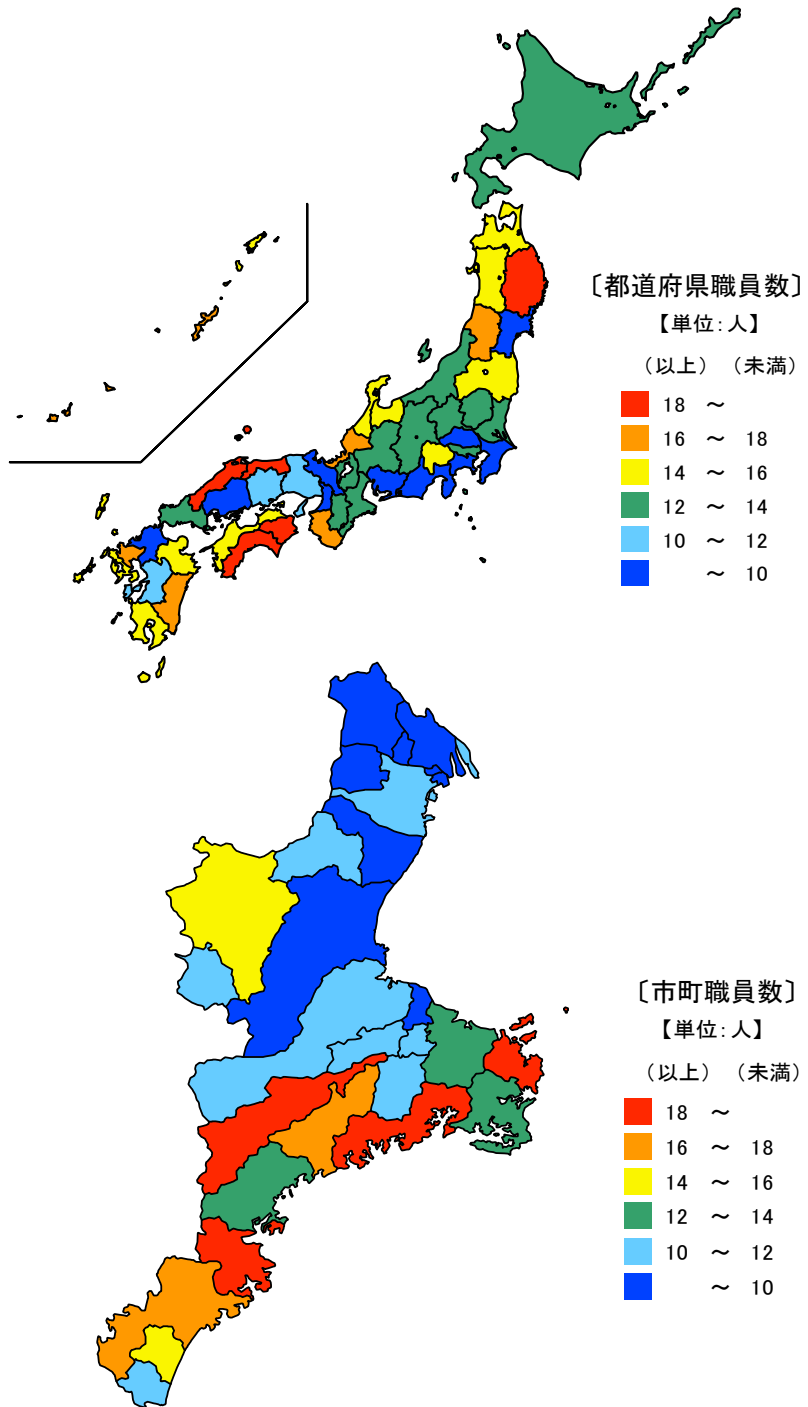
● 都道府県及び市町の職員数(人口千人当たり) 令和2年4月1日

都道府県職員数 単位：人

都道府県	値	順位
平均	11.1	
鳥取県	21.3	1
島根県	20.6	2
岩手県	19.8	3
高知県	19.6	4
徳島県	18.0	5
三重県	12.4	31
愛知県	8.3	43
大阪府	8.3	44
埼玉県	8.2	45
福岡県	8.1	46
神奈川県	5.8	47

市町職員数 単位：人

市町	値	順位
南伊勢町	25.7	1
尾鷲市	24.9	2
大台町	19.8	3
鳥羽市	19.3	4
熊野市	17.6	5
大紀町	17.4	6
御浜町	14.8	7
伊賀市	14.7	8
志摩市	14.0	9
紀北町	13.6	10
伊勢市	12.6	11
松阪市	12.0	12
玉城町	12.0	13
亀山市	11.9	14
紀宝町	11.8	15
度会町	11.5	16
名張市	10.9	17
多気町	10.6	18
木曾岬町	10.3	19
四日市市	10.2	20
朝日町	9.6	21
津市	9.5	22
明和町	9.0	23
菰野町	8.9	24
東員町	8.6	25
川越町	8.2	26
いなべ市	8.1	27
桑名市	7.9	28
鈴鹿市	7.3	29
市町平均	10.7	



令和2年4月1日現在の三重県の人口千人当たりの県職員数は12.4人で、全国順位は31位となっています。

県内市町の人口千人当たりの市町職員数は、南伊勢町、尾鷲市、大台町の順に多く、鈴鹿市、桑名市等は少なくなっています。

【資料出所】

総務省「地方公共団体定員管理調査」

全国・都道府県の総人口：総務省統計局「国勢調査」

三重県市町の総人口：三重県戦略企画部統計課「推計人口」

【算出方法】

職員総数÷総人口×1,000